

万九千社まくせのやしろ  
立虫神社たちむしじんじや

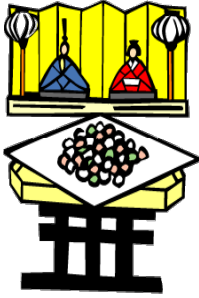


# 神戸の郷

第七二号 令和三年春  
「発行」三月吉日 代宮家（錦田）

うららかな春の陽射しを浴びて、いのち芽吹く季節となりました。その命の力、自然の営みにあやかり、神社におきまして、春のお祭りを奉仕します。

神さまから見れば、縁あって神立千家に暮らす全ての人々が「氏子さん」です。どなたも遠慮なくおまいりのうえ、感謝と祈りを捧げましょう。



今季の祭

三月二十七日

（土曜日）

## 一、勸学祭

午後一時 小学校入学予定者  
午後二時 中学校卒業生  
立虫神社にて齋行

## 祝！小学校御入学 中学校御卒業

この春、晴れて小学校入学と中学校卒業を迎えた子供達が、氏神様にそろって参拝します。

神前に、入学、卒業の時を迎えたことを奉告、感謝し、これから先の心と体の健やかな成長、勉学の成就をお祈りするものです。

家族や人々のあふれる愛情を受け、育っていく子供達。

私たちの宝、未来を担う彼女らの健やかな歩みを地域あげて見守っていきましょう。

このお祭りには、氏子地域みんなで、子供達の成長を支えていこうと神さまに誓う意味もあるのかもしれない。



※御参拝の方は、祭典開始10分前までに拝殿へお上がり下さい。

制服、スーツなど神前で礼を失さない服装で結構です。

※平素、神社維持の氏子負担金を未納の御家庭のお子様で参列を希望なさる方は、事前に社務所（電話〇八五三（七二）九四一二）まで遠慮無くお申し出下さい。

きねんさい(としごひのまつり)  
**一、祈年祭**  
 午後四時より神社にて齋行

春祭りの中心となる祭典です。宮司以下の神職が古式にのっとりた装束を身に着け、厳かに奉仕します。御神前に山のようにたくさんのお供え物をして大神さまをおもてなしし、宮司が祝詞を奏上します。祝詞では今年一年が良い年でありますようにと、稲をはじめ五穀豊穡とその豊かな稔りに支えられた工業商業など諸産業の繁栄、人々の幸と平安を感謝しつつ御祈念します。当日は、氏子を代表して、総代の皆様に昇殿してもらい、まごころ込めて玉串拝礼していただきます。

※氏子さんの各家に、春祭りのお札と御洗米を授与し



ます。当番の方は、午前八時から午後一時までにお参り下さい。よろしくお願ひします

**【お知らせ】**  
**祝！ 出雲大社遙拝所 遷座改築工事竣工**

去る令和二年十一月十二日、かねて老朽化が進み遷座にあわせ改修改築工事を行っていた出雲大社遙拝所の竣工奉告祭をお伝えしました。

この事業は千家自治会の竹内房雄様、万九千神社「令和の森づくり」事業奉賛者の皆様、金山工業(株)、(株)南風園、(有)ヒカワサンド、森脇司様による多額の御浄財及物品奉納等のおかげで果たされました。この場を借りまして御関係の皆様方にあらためてまして感謝申し上げます。末永く大切にお祀り致します。さて当社には日本を代表する二つのお宮さん、伊勢神宮と出雲大社の両宮の遙拝所があります。しかも両

宮を地図上の直線で結ぶとおよそ当社の真上を通ります。八百万神さまをお祀りする「万九千さん」ならではの不思議な御神縁の賜物でしょう。春祭りまでには詳しい案内板を設置します。どうぞ万感の思いを込めて遙かに拝(おろが)み下さい。

《あとがき》▼悪しき疫病が世界を混乱に陥れて早くも一年以上。▼そして多くの人々が犠牲となり甚大な被害を被った東日本大震災から一〇年の月日が経ちました。▼あらためて「当たり前」の日常が如何に尊く大切なものであるか。「生かされて生きていること」がどれだけ有り難く忘れてはならないことか。「人の命とは何か」と深く思いをいたす今日この頃です。▼平成二八年春に復興した万九千神社春祭り「大なほらひ」。残念ながら疫病感染予防のため、昨年に引き続き今年も飲食を伴う賑わい行事は全て中止せざるを得ません。しかし祭儀だけは厳肅に齋行します。一日も早い日常が取り戻せるよう万九千大神(あまつかみ)神地(かみ)祇(あまつかみ)八(あまつかみ)百万(あまつかみ)神(あまつかみ)にお仕えする所存です。(文責 宮司 錦田剛志)